

第 28 回電気通信普及財団賞 受賞論文 ～テレコム社会科学学生賞～

<順不同、敬称略>

※社会部門は、当論文賞受賞時の所属を記載しております。

[佳 作]

「インフラへの新しい脅威への対応」

大澤 健太 流通科学大学 商学部商学科 1年

次々に開発され市場に導入される新しい機器やシステムが IP 接続によって社会に普及してゆくとき、人間不在のメカニズムがセキュリティに与えるインパクトを展望したものとして評価された。しかしインフラとセキュリティという抽象的な概念のみではどのような社会的損失が生まれるのかの分析には不十分で今後より掘り下げた研究が期待される。